

# 一般質問 町政を問う

自民 自民クラブ  
公明 公明党  
住民 住民と自治の会  
改革 改革みずほの会  
共産 日本共産党  
民主 民主党

質問文は、質問者本人が200字以内で執筆した原文をそのまま掲載し、答弁は内容を要約して掲載しています。

## 都市計画の課題について



町長 緑豊かな市街化調整区域を維持していく

尾作 武夫 議員（自民）

**質問** 都市計画は、都市の環境を保全し、その機能を増進するために、20年程度の長期展望に立って、その区域、密度や町組をきめ、必要な街路・公園・下水道等都市施設の位置・規模・配置などをきめて、全体として調和のとれた市街地を作り上げることである。そこで次の3点について町長に伺う。

**問①** 市街化調整区域の見直しについて。

**町長** 栗原土地区画整理事業に伴う市街化区域への編入を進めるが、基本的には都市機能のコンパクトシティ化や緑豊かな住環境維持のため、市

街化調整区域を維持していく。

**問②** 箱根ヶ崎西平地区の土地利用計画について。

**町長** 区画整理事業の可能性を検討したが、約4分の1の地権者から賛同が得られなかった。引き続き検討していく。

**問③** 駅東口周辺の再開発計画について。

**町長** 駅前広場を含めた都道166号線の整備が着々と進んでいる。完成すれば、交差点ミミナル機能も拡充し、文字どおり瑞穂の玄関・顔となる。



栗原地区の市街化調整区域

## 未曾有の大不況に町の対策は

原 成兆 議員（自民）



町長 プレミアム付商品券など活性化を図る

**質問** 昨年の秋、一瞬の間に世界を駆けめぐった大不況は、1年経過する今も好転の兆しが見えない。こうした経済情勢の中、企業及び町民は毎日の生活に苦しんでいる。

そこで、町は財源を確保するとともに、現状を脱すべく施策を大

胆に早期に実施する責務があると考え、次の点を町長に問う。

**問①** 実施した事業の検証と今後の対策は。

**町長** 中小企業信用保証料補助制度、公共工事の前払い金の対象拡大、中小企業への融資制度の融資枠拡大と返済期間の延長、住宅

等補助制度を実施。いずれも実績を上げています。また、11月には、プレミアム付商品券を発行し、地域経済の活性化を図る。

**問②** 基金の見直しと活用は。

**町長** 土地開発基金を廃止して財政調整基金に積み替え、財政の弾力化を維持する。今後、各基金の見直しに努める。

**問③** 土地開発公社のあり方について。

**町長** 土地購入の有利子負債返済が長引き町の補てんが増加しないよう、短期に買い戻すことを努める。

## 自然災害への対策について問う

青山 晋 議員（公明）

町長 防災力の一層の強化を図る



**質問** 最近、わが国では自然災害が多発している。山口県・九州北部方面の集中豪雨、駿河湾を震源とした東海地方の地震、兵庫・岡山、徳島方面を襲った台風9号など、予期せぬ災害に見舞われている。わが町でも、対策を講じているのは承知しているが、なお一層の対策が必要と考える。そこで、次の3点を伺う。

**問①** 大型地震への対策は。

**町長** 地震に強い都市づくりを進めるとも



側溝の浚渫作業

**豪雨への対策は。**

**町長** 2、3点目については、あわせてお答えする。

**道路冠水対策として**は、側溝清掃や水路浚渫などを行っている。町内の土木業者には、応急態勢をとるなどをお願いした。残堀川改修工事完成により、豪雨による被害は少なくなってきたが、まさかの時に備えるよう職員に指示した。

**問②** 台風被害への対策は。

**問③** 集中

に、防災訓練や自主防災組織の強化・充実を図る。

さらに、二本木地区に防災拠点を整備し、防災力の強化に努める。

**問②** 台風被害への対策は。

**問③** 集中



「みずほ超とくとく商品券」のポスター